

カラマツエリートツリーの開花について

カラマツは、成長が優れ、強度にも優れた林業樹種です。近年木材加工技術が大きく進歩したことにより、合板や集成材等の素材として注目されています。このため、カラマツ造林への意欲が再び高まりつつあり、長野増殖保存園でも特定母樹原種園(写真1)の整備により原種の供給体制を強化しております。



写真1. カラマツ特定母樹原種園

カラマツは豊凶が著しく、また豊作年は数年に一度程度であることから、種苗生産におけるカラマツ優良苗木の生産・普及や、林木育種における次世代精英樹選抜のための苗木育成において種子の安定的な生産が課題となっていま



写真2. 断幹を行ったカラマツ



写真3. スコアリング処理の様子

す。現在、各地でカラマツの着花促進に向けた試験・研究が進められていますが、未だ確実な着花促進の確立には至っておらず、引き続き調査・研究が必要な状況です。

当園では、昨年2月にカラマツ交配園で断幹を行うとともに(写真2)、昨年4月には着花促進のために幹に鋸でらせん状に傷をつけるスコアリング処理(写真3)を行いました。

その後、今春にはカラマツエリートツリー数系統で開花がみられました(写真4)。

この開花がスコアリング処理の結果によるものであるかについては今後さらに事例を積み重ねて明らかにしていく必要がありますが、ここからの種子を確実に採取し、第三世代精英樹の選抜につなげていきたいと考えています。



写真4. カラマツエリートツリーの雌花

(長野増殖保存園 井上 晃)